

2024年10月24日
プレスリリース No.017-24

地球社会の未来の姿を、地域の人々と共に考える
「令和6年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会」の開催

このたび、静岡文化芸術大学では、「令和6年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会」を開催します。研究成果発表会は、教員特別研究費により本学教員が行った研究成果を、地域や市民の皆様などに広く発表することを目的として実施します。今年度は、令和4年及び5年度の教員特別研究から6名の教員が、それぞれの研究の成果を発表します。

■教員特別研究費とは？

本学では、教員の積極的な研究活動を支援するための制度として「教員特別研究費」を設けています。毎年度学内で公募を行い、採択された研究に研究費を配分しています。研究内容は、「静岡文化芸術大学グローバルデザイン推進ビジョン2020」である「持続する社会のためのグローバルデザイン」沿った研究とし、とくに重点研究として3つのテーマを設けています。

1. 包摂的な文化の推進のためのグローバルデザイン
2. いのちを大切にする文化、社会、経済のグローバルデザイン
3. 遠州地域を輝かせるグローバルデザイン

重点研究のほかにも、先進的研究、文化・芸術研究センター研究等を設け、学術的な関心による研究だけでなく、私たちが住む地域社会の課題解決、発展に資する研究を推進しています。

■開催概要

- 【日時】 2024年10月31日(木) 14:30 開場
14:40 開始(18:10 終了予定)
- 【会場】 静岡文化芸術大学 西棟 ギャラリー (入退出自由)
- 【対象】 高校生以上
- 【参加料】 無料
- 【会場来場】 申込不要。直接お越しください。(会場に駐車場はありません)
- 【オンライン配信視聴】 案内チラシのQRコード、または大学HPより申込み。
- 【内容】 発表者6名。1人20分の発表時間。

研究のテーマや概要は添付の案内チラシをご参照ください。



藤井康幸教授「遠州地域(三遠南信地域)の地域構造変化に見る今日の課題」より



新妻淳子准教授「伝統建築・伝統工芸の技術と文化の継承に関する研究」より

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 企画室
Tel. 053-457-6113 / Fax. 053-457-6123
Email. kikaku@suac.ac.jp

公式 Web サイト



令和6年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会

10/31^T 14:40
H
S
U 18:10
令和6年
静岡文化芸術大学 **ギャラリー**
参加無料(入退出自由)

1

文化政策学科
藤井 康幸 教授

遠州地域(三遠南信地域)の地域構造変化に見る今日の課題

三遠南信地域を含む県境地域連携、流域圏連携、越境連携中枢都市圏の延べ17の広域連携地域について、地域構造、推進体制、施策の分類と実施状況、並びに、広域連携類型別の事業の特色を整理分析した上で、三遠南信地域の課題と施策の展開方向を提示した。

2

デザイン学科
迫 秀樹 教授

高齢者のフレイル予防に資するための基礎研究 —個人差とその効果に着目して—

高齢者のフレイル予防に資するため、重要とされる運動・食事・社会参加などに関する基礎的なデータを収集し、さらに個々の高齢者の興味・嗜好などとの関連から、これまでフレイル予防には積極的ではなかった高齢者への新たなアプローチに繋がる知見を得ることを目的として調査研究を実施した。

3

文化政策学科
林 左和子 教授

クラフト絵本の研究 —共に生きることのできる社会の実現のために、読者の特性を踏まえた絵本の制作や提供方法を考える—

本研究では、少数の読者にむけて素材や印刷およびしかりに工夫を凝らし小ロットでつくられる絵本を、「クラフト絵本」と定義した。印刷技術の向上とデジタル技術の発達により無数の複製が可能となった現代において、絵本の形態と体験を問い直すため、クラフト絵本について探究した。

4

デザイン学科
新妻 淳子 准教授

伝統建築・伝統工芸の技術と文化の継承に関する研究

伝統的な建築・工芸の技(技能・技術)とその背景にある文化・芸術を、匠(技能者)と協働して継承・創造するための研究を推進する。各分野の現状調査や実践的なワークショップ等を通じて、匠・研究者・デザイナーが共通言語を得て、ものづくりの一員となり、日本の技術と文化を未来へつなぐための地域における教育・研究活動の拠点を目指す。

5

国際文化学科
兪 嶸 教授

産学官連携による観光人材育成と歴史文化資源を活用した地域の観光開発 —中国・甘肅省を事例に

この研究では、中国・甘肅省の観光産業を研究及び人材育成の二つの側面から支える西北師範大学でのヒアリング調査を通じて、産学官連携による実践型観光人材育成の方法と、歴史的・宗教的文化を観光資源として活用する仕組みを解明し、これらを本学文明観光学コースの運営に活かす可能性を模索する。

6

デザイン学科
藤井 尚子 教授

病院のアートを介した人々の社会的関わりとその環境のデザインに関する研究

本研究では、昨今、多岐に取り組みされている病院のアート(ホスピタルアート)について、その立案・運営・実施を通じ、関与する人々が相互に作用し合うことで、病院環境がどのように変化するかを目的に、[参加型]、[鑑賞型]、[参加+鑑賞型]のプロジェクトを立案・試行しながら研究を進めた。その上で、病院といった特殊な環境に関わるさまざまな人々の、新たな関係性を創造しうる「開かれたアート」について考察した。

司会・進行 / 磯村克郎 文化・芸術研究センター長

オンラインで配信予定

※詳しくは大学HPをご覧ください

<https://www.suac.ac.jp/>



申し込み等は必要ありません。どなたでもご参加いただけます(入退出自由)。



access

[徒歩] JR浜松駅から徒歩15分

[バス] 浜松駅バスターミナル

◆10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車

※駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。



(主催) 静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター

お問合せ

〒430-8533 浜松市中央区中央2-1-1 静岡文化芸術大学企画室
[TEL] 053-457-6113 [mail] kikaku@suac.ac.jp

